

平成29年度 鎌ヶ谷市環境美化対策推進協議会 第4回会議 会議録

1 開催日時：平成30年2月6日（火）午後2時～午後3時30分

2 会 場：鎌ヶ谷市役所6階 第1・2委員会室

3 出席者：①委員 11名

菅野勝利会長、塙正浩副会長、須田康子委員、藤井克典委員、  
皆川洋子委員、竹内直人委員、安東美紀子委員、鈴木和子委員、  
川上輝委員、岡本勝宏委員、小林浩之委員

②自連協の環境委員代表 7名

小林トキ委員、渡部郷勝委員、石原清作委員、三ツ橋のぞみ委員  
石綿弘委員、橋本晴子委員、浅海光三委員

③事務局 3名

中川クリーン推進課長、焼貝業務係長、櫻井主事

4 傍聴者 なし

5 会 議

議事録署名人の選出：名簿登載順により藤井克典委員、皆川洋子委員を選出  
その後、第4回協議会を開催。  
会長を議長として議事進行。

報告（1）平成29年度ごみの散乱のない快適なまちづくりキャンペーンについて  
事務局より平成29年度ごみの散乱のない快適なまちづくりキャンペーンについて  
及び路上喫煙防止パトロールについて会議資料2ページ及び3ページに基づき  
説明

会 長：ただいま事務局より説明がありました。何かご意見ご質問等があります  
か。

→委員から意見はなく、異議なく承認される。

報告（2）平成29年度リサイクルフェアの実施結果について

事務局より平成29年度リサイクルフェアの実施結果について会議資料4ページ  
及び5ページに基づき説明

会 長：ただいま事務局より説明がありました。何かご意見ご質問等があります  
か。

→委員から意見はなく、異議なく承認される。

議題（1）鎌ヶ谷市ごみの散乱のない快適なまちづくり推進団体等表彰要領第6の2の  
改正について

事務局より鎌ケ谷市ごみの散乱のない快適なまちづくり推進団体等表彰要領第6の2の改正案について会議資料6ページから9ページまでに基づき説明

なお、施行日については、事務局と会長で調整することを報告

会長：ただいま事務局よりご説明がありました。何かご意見ご質問等がありますか。

→委員から意見はなく、異議なく承認される。

議題（2）平成29年度ごみの散乱のない快適なまちづくり推進団体等表彰について

事務局より平成29年度ごみの散乱のない快適なまちづくり推進団体等表彰について会議資料10ページから14ページまでに基づき説明

会長：今年度は、1団体か。去年はどうだったか。

事務局：昨年度も1団体でした。

会長：いつ頃に表彰式を予定しているのか。

事務局：平成30年3月下旬に開催予定の平成29年度第5回鎌ケ谷市環境美化対策推進協議会の前に時間を設けて行うことを考えています。

会長：ただいま事務局よりご説明がありました。何かご意見ご質問等がありますか。

→委員から意見はなく、異議なく承認される。

議題（3）鎌ケ谷市自治会連合協議会の環境委員代表との平成30年度ごみゼロ運動開催に向けての意見交換について

事務局より、鎌ケ谷市自治会連合協議会の環境委員宛てに会議資料15ページから17ページまでのアンケートを実施していることを説明

（ここから、鎌ケ谷市自治会連合協議会の環境委員代表に会議に加わっていただいた）

会長：鎌ケ谷市環境美化対策推進協議会はごみゼロ運動を主催しています。また、2年前から鎌ケ谷市との共催となった。この意見交換は、3年前から行っており、今まで自治会連合協議会の環境委員との意思疎通ができていなかったこともあり、意見交換を行っている経緯がある。

自委員：ごみゼロ運動の開始を知らせる防災無線は、自治会によっては聞きづらいところがある。

自委員：防災無線が放送されれば、ごみゼロ運動のことを思い出すきっかけになる。いい事だと思う。

自委員：夜間に仕事に出る人にとっては、うるさいかもしれないが、そのような意見は聞いていない。

自委員：防災無線でごみゼロ運動の開催をお知らせすることは、鎌ケ谷市自治会連合協議会の環境委員からぜひ行ってもらいたいと言ってきたことである。

自委員：ごみゼロ運動への参加の意識を高めることが必要だ。

自委員：ごみゼロ運動の際に、自治会によっては、ジュースやお茶を配っている

ところもある。

自委員：自治会で予算組み、環境委員が予算を執行している。

自委員：ごみゼロ運動の時に、グラウンドゴルフ、防災訓練、班会議や側溝の清掃を行っているところもある。自治会によって、やり方が違うようだ。

自委員：側溝のヘドロの回収は、ごみゼロ運動の際に回収をしないのか。

事務局：側溝の清掃によって出るごみは、月曜日と火曜日に回収を行っています。事前若しくは月曜日か火曜日に連絡をいただければ回収します。

自委員：3年位前だったか、ごみゼロ運動当日に回収拠点に冷蔵庫が置かれたことがあったが、最近はあまり聞かない。

自委員：栗野地区では、3年位前にタイヤが4本置いてあったことがあった。民家のないところは、ごみを捨てやすいのではないか。

自委員：私有地はやらないことでいいのか。

会 長：各家庭にごみゼロ運動のチラシを配っており、簡単な要領が記載されている。ただし、自治会加入のところにはチラシが配られているが、自治会未加入のところにはチラシが配られていない。

自委員：チラシの内容も見直してもらいたい。

自委員：最近、ごみが減っている。ただし、市外から来るドライバーが、ごみを捨てているようだ。鎌ヶ谷市環境美化対策推進協議会の予算で、ごみゼロ運動の1か月前に、ごみをむやみに捨てないような内容の横断幕や看板を作成することはできないのか。

委 員：リサイクルフェアでの売り上げは、鎌ヶ谷市環境美化対策推進協議会が活動するための経費として使えるのか。

事務局：鎌ヶ谷市環境美化対策推進協議会の予算で、看板等を作成することは可能だと思います。

自委員：標語を子供たちに考えてもらうというのはどうだろうか。優しい言葉の標語の方が分かりやすいのではないか。

委 員：捨てない意識と拾う意識を共に醸成し、自治会を超えた横への連携が考えていければ良いのだと思う。

自委員：ここ10年を見てもみると、ごみが年々減っている。地道に続けていくことが大事ではないか。

会 長：大きな成果としては、環境美化運動をごみゼロ運動に名称の変更を行った。環境美化というとピンとこないところがあるが、分かりやすい名称になったと思う。ごみゼロ運動のチラシの全戸配布を実施した。今までは班回覧だったが、分かりやすくなったと思う。また、鎌ヶ谷市環境美化対策推進協議会と鎌ヶ谷市自治会連合協議会が、もっと寄り添うことが必要である。

その他特に質疑等なく閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するために次に署名する。

平成30年 2月 9日

氏名 藤井 克典 \_\_\_\_\_

氏名 皆川 洋子 \_\_\_\_\_